第５２回全国ミニバスケットボール大会青森県予選会
第４５回青森県スポーツ少年団フェスティバル・ミニバスケットボール競技会開催要項

１　大会名称　　第５２回全国ミニバスケットボール大会青森県予選会
第４５回青森県スポーツ少年団フェスティバル・ミニバスケットボール競技会

２　趣　　旨　　・ミニバスケットボールを通じて、少年少女の体力つくりと社会性の育成を図るとともに、バスケットボールの 普及発展を図る。
・県内小学生のミニバスケットボール競技の普及と健全なスポーツマンを育成するとともに競技を通じ団員相互の交流を深め、スポーツ少年団活動のより一層の活性化を図る。

３　主　　催　　一般財団法人青森県バスケットボール協会
公益財団法人青森県スポーツ協会青森県スポーツ少年団

４　主　　管　　八戸市バスケットボール協会
一般財団法人青森県バスケットボール協会Ｕ１２部会

５　期　　日　　令和２年１２月２６日（土）～２７日（日）

６　会　　場　　八戸市東体育館　八戸市長根体育館

７　参加チーム　　各地区から推薦された男女各８チーム、計１６チーム
・今年度はコロナウイルス感染症対策のため、主催者が決定したチーム数に従って各地区協会が推薦したチーム（申し込み後、推薦されたチームが感染症やインフルエンザ等で出場できない場合の代替は認めない）

	東青	八戸	弘前	十和田	三戸	西北五	三沢	下北	合計
男子	1	1	1	1	1	1	1	1	8
女子	1	1	1	1	1	1	1	1	8

８　競技方法　　男女各８チームによるトーナメント戦
但し、地区からの推薦ができない場合には、組合せの対戦校の不戦勝とする。

９　参加資格　　(1)公益財団法人日本バスケットボール協会に加盟活動しているチーム。
(2)プレーヤーは公益財団法人日本バスケットボール協会に個人登録している者。
(3)ベンチでゲームの指揮を執る者は、公益財団法人日本バスケットボール協会に登録されたＪＢＡ公認コーチであること。また、その資格は、ＪＢＡ公認Ｅ－２級またはＥ級コーチ以上であること。
(4)今年度青森県スポーツ少年団へ登録済みのコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー及び児童（団員）であること。チーム関係者も同様とする。
(5)指導者(コーチ)は、ＪＳＰＯ公認スポーツリーダー【旧認定員】及びＪＳＰＯ公認スポーツ指導者資格【旧認定育成員】であること。
(6)コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー及び児童（団員）は、本大会に出場する複数のチーム（団）に兼任で参加申し込むことはできない。
(7)保護者の同意（様式自由）を得た児童（団員）であること。
(8)学校管理下外におけるスポーツ活動中の傷害を保障する保険に加入済みである指導者及び児童であること。

10　参加人員　　⑴ １チームにつきコーチ１名、アシスタント・コーチ１名、マネージャー１名、その他２名、プレーヤー１５名の合計２０名以内。（コーチ、アシスタント・コーチ、その他は、小学生不可）
⑵ 団員は同一単位団所属であること。

11　競技規則　　⑴ 規則は公益財団法人日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。制限区域は長方形を採用する。
⑵ 2019 年度以降の U12 カテゴリーにおける競技規則の一部変更を適用する。ただし、ショットクロックの変更（２４秒/１４秒リセット）を採用。
⑶ ディフェンスは、マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。
⑷ １試合の所要時間は原則９０分とし、試合終了後にベンチやオフィシャル席の消毒を係が行い、前試合のチームがコートを出てから次試合のチームがベンチに入り２０分の練習時間を確保する。
⑸ ハーフタイムは５分間とし、次の試合の練習は行わない。
⑹ ベンチは、トーナメント表チーム番号の若い方をオフィシャルに向かって右側とする。
⑺ 試合球は、両チームの持ち寄りとする。

12　ユニフォーム　⑴ ユニフォームは、日本バスケットボール協会のユニフォーム規程による。 但し、旧ユニフォーム規程で製作されたユニフォームしかない場合は、県大会以下に限り、そのユニフォームでの出場を認める。
⑵ ユニフォームは濃淡２色用意し、原則としてチーム番号の若い方を淡色とする。ただし、２試合目以降、両チームの話し合いで双方が了解した場合は、シャツの色の濃淡を交換することができる。変更する場合は事前に大会本部に報告すること。
⑶ プレーヤーが競技中に身につけるものは、原則として日本バスケットボール協会の「競技規則 第４条4-4 その他の身につけるもの」に準ずるものとする。但し、２０２０年度は県大会以下に限り、チームの全プレーヤーが同じ色に統一しなくてもよい。
⑷ 冬期間は、県大会以下の大会に限り、ユニフォームからはみ出すシャツ状の衣類（Ｔシャツ・ロングスリーブＴシャツ）の着用を認める。ユニフォームが濃色の場合は同色か黒、淡色の場合は白とする。

13　式典及び表彰　⑴ 開会式……行わない
⑵ 閉会式……行わず、準決勝・決勝後に各チーム代表に表彰を行う。
・最優秀賞（１位）、優秀賞（２位、３位）に賞状、トロフィーを与え表彰する。
・参加全チームに参加記念を与える。
・男女とも最優秀賞チームを第５２回全国ミニバスケットボール大会に推薦する。また、優秀賞チームを第４５回東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交歓大会に推薦する。（全国大会が行われない場合は、１位、２位、３位のチームを東北ブロック大会に推薦する。３位は１位チームに敗れたチームとする。）

14　参加費及び諸経費
⑴ 参加費１チーム　１８，０００円
⑵ 交通費等は参加者負担とする。
⑶ スポーツ障害保険等は、各チームで必ずかけること。

15　提 出 物　　⑴ 選手は「健康チェックシート（参加チーム用）」に記入し、用紙下の「保護者　確認欄」に保護者から記入してもらう。（この記入をもって参加同意書とする）
⑵ 各チームの感染対策責任者は、大会参加者及び応援者の「健康チェックシート」をまとめ、受付に提出する。

16　参加申込　　(1)申込締切　令和２年１２月１４日（月）２３：５９
(2)申込方法（要項が完成後にJBAに県協会から登録後IDを確認し記載）
以下、①②③を期限内に行う。
①ＴｅａｍＪＢＡから「イベント」＞「大会一覧」から申し込む。
【イベントＩＤ】　＜男子＞ E112000767　　＜女子＞ E112000768
②コンビニまたはゆうちょから参加料を支払う。
システム利用手数料２４９円（税抜）はチーム負担とする。
③青森県バスケットボール協会（aomori.japanbasketball.jp）から様式をダウンロードし、以下の２か所に申し込む。
○参加申込書、プログラム用名簿のデータを電子メールにファイルを添付して送付
（参加申込書Aに書き込むと、協会控え、プログラム名簿にも記載されます）
八戸市ミニバスケットボール連盟事務局メールアドレス：hachibas.u12@gmail.com
○参加申込書Aを印刷し、所属市町村スポーツ少年団事務局に提出する。所属市町村スポーツ少年団事務局は、会長印を押印後に県スポーツ少年団事務局へ送付すること。
※参加申し込み様式に入力する際、書式の変更は一切行わなこと。

17　組合せ抽選　令和２年１２月１６日（水）１８時　場所：八戸市立柏崎小学校
一般財団法人青森県バスケットボール協会の理事立会いのもと、主管地区協会が抽選する。

18　組合せ発表　令和２年１２月１８日（金）
青森県バスケットボール協会ホームページ、出場チームへの送付により発表する。

19　会　　議　代表者会議は行わず、事前に注意事項等を連絡し、当日は受付後に各チームと確認する。

20　問合せ先　八戸市ミニバスケットボール連盟事務局　　hachibas.u12@gmail.com

21　その他　(1)オフィシャルへのメンバー表の提出は必要ない。ただし、メンバー変更があった場合は、大会本部が指定するメンバー表に変更・訂正等を記入し、代表者会議前に提出すること。なお、代表者会議以降のメンバー変更は、特別な場合を除き認めない。
(2)ベンチエリアならびに、ベンチの後ろにエントリー以外の者が入ることはできない。
(3)ベンチで指揮を執る者は試合中、JBAネックストラップを使用し、コーチ登録証を首から下げておくこと。
(4)不正な応援をしないよう、マナーを守ること。
(5)テーブルオフィシャルは、次の試合チーム及び八戸市バスケットボール協会U12部会が行う。
(6)審判員及びコミッショナーは，主催者が派遣する。
(7)参加者は保護者の同意を得てコーチが指導監督にあたるが、保護者の同伴が望ましい。
(8)日帰りでの保護者送迎を基本とし、全体でのレセプションやチーム等での会合・会食は行わない。
(9)昼食弁当については、各チームで手配すること。
(10)チーム代表者、コーチ、スタッフは、選手引率に責任をもって行動すること。（大会中）
(11)参加者の大会に関する疾病及び傷害については、応急処置はするが、その後の責任は負わない。
(12)提出書類に記載されたデータ（画像データ含む）は、主催者が大会運営のため大会プログラムや 大会公式サイトなどに使用するほか、報道を目的として報道機関に提供することがある。
(13)フロアでの撮影は、大会本部が認めた者（報道関係者等）以外禁止とする。また、会場内ではフラッシュ撮影は禁止とする。
(14)大会プログラムの内容や、個人特定可能な選手写真などを無断でＳＮＳ等にアップロードすることを禁止する。

(15)東北ミニバスケットボール大会、全国ミニバスケットボール大会は、ＪＢＡ公認Ｄ級コーチ以上が必要となる。
(16)競技規則ならびにマンツーマンディフェンスの基準規則等は、事前に確認すること。

【JBA U12 カテゴリー】
http://u12.japanbasketball.jp/　内「情報コンテンツ」

【重要】2019 年度以降の U12 カテゴリーにおける競技規則の一部変更について
http://u12.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/2019/04/ALL_U12_rule-change_20190401.pdf

【2019 U12 カテゴリー新ルール変更点(2019 年 4 月 1 日版)】
http://u12.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/2019/04/MINI_rule_20190401.pdf

【マンツーマンの推進】
http://www.japanbasketball.jp/players_development

【競技規則 第 4 条 4-4 その他の身につけるもの】
http://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/2019rule.pdf

(17)コロナウイルスへの感染予防対策については JBA のガイドラインに準ずる。(別紙参照)
(18)大会の中止については JBA のガイドラインに準じ、事前及び急遽の中止もあり得る。
①国内・県内の感染症の状況により、感染拡大が懸念される場合
②不可抗力によりチームが参加できない場合や会場の使用ができない場合
③申込後、感染症により大会を辞退するチームが 10 パーセント以上ある場合
(19)大会中止の場合、全国大会・ブロック大会出場チームは、これまでの大会等をもとに県の推薦にて決定する。
(20)辞退に対する処分は行わず、コロナウイルス感染症に関わる誹謗・中傷等を許さない。

令和２年１１月２０日
一般財団法人青森県バスケットボール協会　競技部／Ｕ１２部会

＜新型コロナウイルス感染症対策について＞　　令和２年１１月２０日

新型コロナウイルス感染症は、誰にでも感染リスクがあり、以下の感染予防対策に努めてもリスクをゼロにすることはできません。大会に関わる対策は、ＪＢＡから示されている「ガイドライン」をもとに感染症対策を行います。大会関係者、参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、ご理解とご協力をお願いいたします 。「試合を行うための選手のコンディションが整っていること」及び「チーム内に感染が疑われるものがいない」ことが最低限の条件になります。感染拡大を防ぎ、誹謗中傷、不当な扱いなどをなくし、選手のよい思い出となる大会にしましょう。

Ⅰ　事前の対応

・各チームでは、事前に感染症対策責任者を設置し、感染症対策と健康管理を行う。
・保護者の参加同意書をとり、２週間前からＪＢＡの「健康チェックシート」を記入し提出する。
・当日、体温が高い場合や体調のすぐれない場合には、無理せず参加を見合わせる。

１　会場への移動

・基本的に保護者送迎とする。（宿泊は基本的になし。宿泊の場合は保護者承諾が必要）

２　参加できる人

・基本は無観客であり、選手・コーチ・審判・スタッフ・報道（写真）関係と、保護者・応援者等は２０名以内(健康チェックシート提出）の参加とし、一般の観客は入れない。

３　参加者への連絡事項、事前連絡

・各チーム、大会関係者に以下の項目を事前に伝える。
⑴以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせをする。
・検温して熱がある場合、体調が良くない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状）
・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
・過去１４日間以内に政府から入国制限、帰国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
⑵参加者が全員、マスクを着用する。
⑶主催者や会場校が示す注意事項を厳守する。
⑷終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には速やかに報告する。
⑸実施中は可能な限り行動記録を記載する。（感染者発症発覚の際の濃厚接触者特定のため）
⑹参加する各チームでも消毒液等を準備する。

４　監督会議、代表者会議、打ち合わせ

・運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を伝える。
⑴試合前、試合後に相手チーム、審判との握手はしない。
⑵両チームベンチへの挨拶は代表のみ実施。
⑶倒れた選手がいる場合、大人に知らせる。
⑷ハイタッチ、抱擁を行わない。　⑸咳エチケットを守る。
⑹ボトルを共有しない。　⑺タオルを共有しない。
⑻コート上でチームメイト、審判と会話をする際にもお互いの距離について配慮する。
⑼ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

Ⅱ　会場における対応

・マスクの着用、ソーシャルディスタンス確保、衛生エチケットを遵守する。
・消毒は、各チームでも手指消毒を行い、試合では試合開始前にベンチ・オフィシャルテーブル等の消毒を係で行う。
・放送に従って移動し、試合が終了したチームが退場後に次試合チームが入場する。

１　諸室等

・各部屋に消毒を準備し　飲み物などは個人で準備する。

２　手洗い場所、トイレ

・会場の使用方法、消毒に従う。

３　審判控室

・マスクを着用し、会話を最小限に留める。
・利用者は滞在時間を短くするため着替えに限定する。
・審判部のコロナ対応の規則に準じて大会にエントリーし、行動する。

４　サイドライン　ベンチ

・試合ごとに係によるベンチ消毒、ベンチは２列にするなど隣との距離をとる。

５　来場者対応

・応援は、大きな声にならないように保護者や応援者に協力をお願いする。
・各チームに観客席を指定し、一般観客は入れない

Ⅲ　事後の対応

・大会終了後、会場の指示に従い消毒など行う　各チーム個人での手指消毒を行う。
・発症者がいた場合には、八戸市バスケットボール協会 U12 感染予防責任者に連絡し、保健所に健康チェックシート等を渡す。

Ⅳ　陽性者、濃厚接触者、体調不良者等が判明した場合

１　基本的な考え方

・集団感染（クラスター）、感染拡大を起こさないこと。
・誹謗中傷を生み出さないように事前にチーム内でも指導すること。

２　体調不良の場合

・体調の異常や熱が高い場合などは、積極的に休むこと（指導者からも理解を促す）
・チーム内の健康管理に努めること。

３　陽性者・濃厚接触者が出た場合

・保健所の指示に従って療養（自宅待機）する。
・２週間の行動記録を提出するため、記録をしておくこと。
・所属長に報告し、チーム活動を停止すること。
・誹謗中傷の防止についての理解を呼びかける。

Ⅴ　大会実施可否判断の考え方

１　大会前の対応としての検討、中止を検討しなければならない状況。

(1) 感染拡大が懸念される場合。
(2) 不可抗力によりチームが参加できない場合。
(3) 辞退によりチームが参加できない場合。（大会は継続するが 10%以上辞退の場合は検討）

Ⅵ　そのほか

・大会中でも急遽中止の場合があること。
・大会前日から大会中の陽性者や濃厚接触者の対応については JBA のガイドラインに基づくこと。
・感染症が疑われる体調不良の場合は参加を自粛すること。

八戸市バスケットボール協会　U12 部会